

1 令和4年度第4回定例会

日 時： 令和4年10月26日（水）午後2時30分から午後4時00分
場 所： 本館 講座室
出席者： （図書館協議会委員）委員6名
 （事務局）図書館長、中央図書館整備担当課長、企画運営係長、
 総務担当主査

会長 令和4年度多摩市図書館協議会第4回定例会を開催する。
 本日は委員1名が欠席であるが、多摩市図書館協議会規則第4
 条により会議は有効に成立する。

 事務局から配布資料の確認をお願いする。

 配布資料確認。

会長 本日は議題が2件に報告が1件全部で3件である。

 議題1 令和3年度多摩市立図書館事業評価【外部評価】に
 ついて、事務局から説明をお願いする。

事務局 前回までで外部評価に関してまとめていただいた。本日はこ
 れまでの会議の中で外部評価について協議をいただいたので、
 本日は内容の確認・意見をいただいた上で外部評価について決
 定を頂きたい。今後の予定はこの外部評価を受け図書館として
 本年度のこれからと来年度の事業計画に外部評価を反映して計
 画を作っていく。

 外部評価を受け図書館として今後の方向性として取り組み項
 目を追記し、その上で令和3年度の事業評価をまとめて決定す
 る。

 決定した事業評価は委員の皆様にはメールでお送りする。ま
 た、その後ホームページでも公開する予定である。

 また来年度の図書館事業計画に反映出来るものは反映してい
 く。

 来年度の事業評価については次回の協議会に流れの案を示す
 予定だが、今年度と同様の手順で進めたいと考えている。

 事業評価について資料4・1、10ページから基本目標の3
 以降について前回意見協議をいただいたものを図書館協議会の
 外部評価の欄にまとめたもので、事前に会長と各委員にメール
 で確認をしていただいたものである。本日は全体を通して再度
 確認を頂きたい。

会長 全2回の協議だったが予定通り評価が出来たと思っている。今回は全体を通して意見や確認したいことがあれば伺いたい。

委員 また、外部評価の進め方等についても意見等あれば伺いたい。各委員の述べられた意見も入っているのでこれでよいと思う。

会長 この案で評価・確認できたと言う事で終わりたい。

議題2 多摩市立中央図書館管理運営方針について、事務局より説明をお願いします。

図書館長 管理運営方針について、来年7月に開館する中央図書館の管理運営の在り方を策定するもので、これまでに5月19日図書館協議会で協議を始め、各会議への協議や進捗などの報告をしてきた。直近では、8月と9月にパブリックコメントの実施と市民説明会を開催した。そのうえで原案に反映できるものは反映した。

今後のスケジュールは、本日協議をしたのち、11月7日の教育委員会で最終的に原案を決定し、12月の市議会常任委員会に報告していく。また、12月議会に条例改正を上程する。ここで改正が決定されれば、来年1月から3月にかけて関連する例規を改正する。

資料4-2について説明する。市民説明会は3回実施し延べ36名参加があり、質疑・意見は24件であった。意見が多かったのは施設についてである。施設については、現時点での変更は難しいということもあり、市の考えとしては、現在の設計にあたっての経緯もあるので、運営の工夫で意見を反映させていくかたちでまとめた。

次に資料4-3パブリックコメントの意見をまとめたもので、実施期間は8月23日から9月21日の30日間、人数としては提出者は19人、意見ごとに分けると112件であった。その中で方針を素案から原案へ更新するにあたって意見を反映・修正した件数は、14件である。

資料4-4多摩市立図書館管理運営方針の説明の中でパブリックコメントなどによる修正箇所をあわせて説明する。

資料4-4多摩市立図書館管理運営方針1ページには、はじめに入れた。第1章「知の地域創造」では、管理運営方針策定にあたって、図書館の基本方針を根本に据えるような運営をしてほしいので、それを盛り込んでほしいというパブリックコメントがあり、1基本方針・運営方針に枠を入れ明確にした。

また、これまでの基本構想・基本計画を実現させた結果として管理運営方針がまとまるということを知りやすくまとめてほしいというパブリックコメントがあり、2「再構築基本構想」「本館再整備基本計画」を新たに入れた。

また、3ページにある多摩市立図書館長期計画というところでは、素案では「多摩市読書活動振興計画」を記載していたが、「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」を記載していなかった。図書館の長期の計画としては、2つの計画で事業計画を策定して推進しているので、しっかりと「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」について記載したほうがよいという意見があり、3管理運営方針の役割と位置づけに枠組み右側に「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」を追記した。

第2章「中央図書館の施設」の中で修正を加えたところは、6ページの2フロア構成と主な機能というところで、「へなそうるのへや」の記述がある。「もりのへなそうるの世界観に触れられるスペースです」という書き方をしていたが、そういったものではなく、ももとの位置づけとして多摩市にお住まいであった渡辺茂男さんの著作や、人物像・功績などを紹介するスペースであって、多摩市図書館ならではの渡辺茂男氏を記念するスペースといった位置づけが本来なのではないかという意見があった。そこについては、そのようなかたちで記述を修正した。

13ページの4バリアフリー・ユニバーサルデザイン対応では、当初は敷地境界からメインカウンターまたトイレなどまで点字ブロックを敷設しますと記載していたが、建物だけでなく、駅から点字ブロックをたどって図書館にたどり着けるかどうかしっかりと記載してほしいという意見があり、今レンガ坂の改修工事を実施しており、多摩センターの駅から中央図書館の1階までの間が点字ブロックでつながる予定であるので、点字ブロックに「またレンガ坂の改修で点字ブロックを敷設し、駅から館内までがつながります。」を追記した。これについては、今後、視覚障害者の方へも説明する機会があるのでしっかりと説明していきたい。

第3章「中央図書館の資料」について、16ページの7視聴覚資料の充実については、充実といいながら調べ学習や趣味・教養に役立つ分野で定評のある資料を収集するという記載であったが、充実ということで記載するならば、検討の根拠と経過の概要

をもう少し詳しく説明してほしいという意見があった。今までは、CDや録音資料などを収集してきたが、基本計画の中でDVDなどの映像資料を充実するという記載もあり、利用者からの要望もあったといった経緯も含めて、記述内容に根拠や概要を含めたものに変更した。

第4章「中央図書館の機能とサービス」について、19ページの2中央図書館のサービス(6)児童サービスについて、児童サービスは子どもへのサービスだけではなく子どもの読書にかかわる大人へのサービス、例えば、研究者やボランティアなどへのサービスを含めたサービスを記載したほうが良いという意見があり、「また、児童書の研究書等、子どもの読書にかかわる方向けの資料も配置します。」を追記した。現在も本館ではこのような資料を揃えている。

第5章「管理運営の主体と各館の役割」については、地域館のことについて意見をいただいた。地域図書館の存続について心配である、高齢化が進む中で地域館の重要性が増すのではないかと、地域館に対する中央図書館の支援が円滑ではないのではないかとといったような意見をいただいた。こちらについての市の考え方としては、中央図書館開館後も各館の利用状況を見ながら中長期的な管理運営の在り方を検討していく。中央図書館ができたからといって、地域図書館を廃止するということは現時点では考えていない。利用状況を見ながら利用しやすい地域図書館にしていくというのが今の教育委員会の考え方である。

26ページの4各種会議体の運営(2)①多摩市図書館協議会について意見をいただいた。図書館協議会では、事業評価をしていただいているがそれ以外にもさまざまな議題について協議等をしてほしいとか、事業評価に時間がかかっているのではないかなど意見をいただいた。事業評価も大切だと思っているし、事業評価とともに今後の長期的な計画も更新していきたいと思っているので、それも含めて協議していくと市の考えとしてお示しした。

5職員研修の方針についての意見では、研修を充実させてほしいとか、レファレンスに関する研修だけでなく児童サービスや障がい者サービスの研修も開催していくべきだということであるので「レファレンスサービスや児童サービス、障がい者サービスなどについて研修を行う」ことを追記した。

第6章「施設管理・運営条件」について、開館時間や会話・BGM

について意見をいただいた。30 ページの4施設利用時の注意事項(2) 会話について、特に2階のフロアでは周りに迷惑をかけない程度のおしゃべりはできるような設定であり、館内BGMを流し、会話しやすい雰囲気をつくると方針には書いてあるが、BGMに関して6件くらい意見をいただいた。BGMは不要なのではないか、BGMを流して会話しやすい雰囲気を作るとのことまでしなくていいのではないかとといった意見をいただいた。図書館としては、広場系の開架というのを設定する中で、静かにしなくてはいけないという雰囲気をなくしたいというところを意識しており、BGMがあれば雰囲気が違ってくのではないかと考えており、BGMは気にならない程度の例えば、鳥のさえずりなどを考えている。今後、運営していく中で、柔軟に対応していきたい。

以上がパブリックコメントで意見を頂き修正等した部分である。

会長
委員

感想・意見・指摘等があればお願いしたい。

管理運営方針(素案)には「(13) 市民活動支援」の項目があるが、新しい管理運営方針の方には無くなっている。「3 市民との協働」に含めたものと思われるが、市民活動は協働するものだけではない。図書館とは全く関係なくても市民活動支援というものは必要だと思う。(9) 地域ビジネス支援サービスに入れ込むとかは出来ないか。

図書館長

パブリックコメント48番に書かせていただいたが、市民活動支援については、素案では限られた活動について書いていたが、市民活動については様々な分野があって、活動の支援方法についてはしっかりとした方針と対応できる体制が必要になるということを感じたので、今回はこの部分については削除した。改めて、内部検討していきたい。

会長

2階の会話しやすい雰囲気づくりは、大賛成である。従来の図書館を想像している方と食い違いで出来るので、毅然と館の方針を説明しないと市民が混乱する。

図書館長

市民説明会の資料の22番で述べてるように、中央図書館では広場系と静寂系と位置付けており、開館後も利用者にとしっかりと説明していく。

委員

パブコメ14番は確かにそうだなと思った。

新たな図書館に司書はどれくらい居るのか。

図書館長

昨年4月1日現在の職員の状況では、有資格者は常勤職員で、

52%。会計年度任用職員は有資格が任用条件なので100%。全体で、70%以上。常勤職員採用についても今後は有資格者を増やしていく予定である。

委員 パブコメ11番「建物だけに無用のお金をかけている。」とあるが、中央図書館が出来上がったならこうした意見は消えて行くようになってほしいし、私達も知恵を出し参加していきたい。

会長 図書館は集客数にもよるが、ホール系の施設よりコストパフォーマンスが良い。まちおこしや集客施設にもなる。行政側の周知次第である。

委員 多摩市民は来年の図書館に期待しているようだ。限られた職員で大変だと思うが是非皆の願いがかなうような図書館になるといいと思う。

委員 今までと違う図書館になる。新しい図書館出来るのは多くの市民の方は凄く宣伝もしているので知っている。ではどういった図書館になるのかは、施設の外観や室内の様子はパネル等で多くPRされている。広場系とか静寂系とかは多分今後PRされると思うが、説明会やパブリックコメントに来る方は、新しい図書館についてよくわかっている方たちである。新しい図書館が出来て、ふらっと来た方がこれどうなっているのと思ってしまっちはいけないと思う。事前の周知の仕方が大事である。今までの図書館とは違うと言う事をもっと積極的にPRしてほしい。

委員 公共サービスとは相互理解である。

図書館を作るのは自治体だけでなく住民と一緒に作るものである。住民が参加できるような広い意味での図書館がイメージできれば上手くいくと思う。新しい試みが沢山あって意欲的だし新鮮に映ってすばらしいと思える図書館にしたいと思う。住民の力を借りることは重要と思う。

委員 渡辺茂男さんの「もりのへなそうる」であるが、昔からそういう仕事をしている人は周知していると思うが、絵本のへなそうるの世界というのを子供にかかわる職員が伝えていかないとなんか見たことあるな程度でしかない。いろいろな企画や取り組みで図書館が近くになっていくのでいろいろな企画を期待する。

先日学校関係の会議で図書館の話になり保育園・幼稚園・学校図書・学童・児童館が集まった。皆すごい取り組みを行っていた。地域が活動しているので図書館につながると思う。

- 委員 管理運営方針の16ページに新聞雑誌の充実とあるが、外国語の新聞の現状を教えてほしい。開館後は、どのようになるのか。子ども向けの新聞についても教えてほしい。
- 図書館長 「多摩市の図書館」の19ページに新聞のところに現状を載せてある。現本館では、9タイトルと寄贈で2タイトルの合計11タイトルを取っている。
- 外国語の新聞は現本館では置いていない。中央館になったときには新たに置く予定である。英字新聞を1紙、永山図書館に置いている新聞を何紙か中央図書館に移管することも検討している。現在本館に置いていない経済紙も新たに取る予定である。子ども向けの新聞は3タイトル取っている。
- 会長 現在本館では職員45名くらい、中央図書館では何名ぐらいを考えているのか。
- また、開館時間が延びるがその対応は超勤対応するのか、ずれ勤でいくのか。
- 図書館長 ずれ勤で対応する予定である。教育委員会として今の図書館の資源で対応していくと議会答弁している。職員数を単純に増やすことは考えていない。しかし、開館時間が延びることから、ずれ勤対応と土日勤務の頻度を変えるシフトを工夫しながら検討している。
- 会長 そんなに増員はしないと言う事か。超過勤務対応でなくずれ勤では薄い時間帯が出来るし、新館では窓口も増えるので対応できるか心配だ。
- 図書館長 常勤職員・再任用職員・会計年度任用職員といるので、まったく増やさないという事ではなくそれなりに増やすことも内部検討しているが、来年度予算に関する事なので今の段階で明確にお答えはできないが、運営できる体制にする努力を内部でしている。
- 委員 27ページに地域館を早く閉め中央図書館に再配置するとあるが、今の話だと中央図書館の中だけで回すということか。
- 図書館長 全館で工夫していくと言う事で、地域図書館の閉館時間を早めることで早番・遅番が無くなる。また、障がい者サービス事務を中央館に移管することで携わっていた職員も異動する。単純に減らすのではなく、各館の利用状況等を見ながらよりよい運営が出来るよう検討している。
- 会長 開館時間の変更や機能を移すことで概ね総枠は変えないで、運営していくと言う事か。

- 図書館長 　　ただ、中央図書館では貸出し・返却・予約業務をセルフ化することで窓口業務の効率化・省力化を含めて運営について検討していく。
- 委員 　　開館当初1～2年は人を増やさないと運営が軌道に乗らないのではないか。
- 図書館長 　　開館に向けての準備は5月の連休明けから6月末まで、本館は閉館するので、運営に向けて段取りや準備をする。開館してからは、事務室にいる職員も動員し、臨時的な会計年度任用職員を配置して運営していきたい。また、来館者が日々多くこの人数では対応が難しいという実績が出れば増やしていこう方向になると思う。まずは現状の職員に臨時的な職員を足して運営にあたっていきたい。
- 委員 　　開館当初は色々なことがあり職員疲弊しないよう支えていく事が大事だと思う。
- 図書館長 　　永山図書館開館時の混乱も聞いているが、今回は本館が中央館に移るもので、人的にも多く配置されるのでまずは開館をして様子を見ながら職員が疲弊しないように体制を整えていく。
- 会長 　　この案で教育委員会に図り、次の議会で常任委員会に報告すると言う事でよろしくお願ひしたい。
- 次に報告1本館閉館及び中央図書館開館に伴うイベントの実施について事務局より説明をお願いする
- 図書館長 　　資料4-5本館閉館及び中央図書館開館に伴うイベントの実施について、あくまでも予定の報告である。
- 1本館閉館イベントについて、現本館は暫定とは言え学校跡地に移転して15年経過し、愛着を持つ市民も多いことから、5月の閉館に向けたイベントを予定。すでに実施したが、ハロウィンお話を2日間実施した。市民からコメントを集めての掲示や、カウントダウン、本館のツアーなど参加型の記念イベントなどの開催を予定。また、市民からの企画も募集する。
- 2中央図書館開館直前イベントについて、6月3日（土）にオープンイベントとして著名な作家など読書に関する講演会を予定。会場はパルテノン多摩のオープンスタジオを予定。
- 3中央図書館開館イベントについて、令和5年7月1日（土）の開館式典後から7月2日（日）の2日間にわたって開催を予定。会場は2階の市民活動室等館内の施設を中心とする。図書館主催イベントだけでなく、市民団体主催イベント、庁内関係課連携イベントなどを計画する。

- 委員 ハロウィンのお話会について、お祭り期間中にあの場所で行ったのはいい企画だと思う。
- 図書館長 4回の内容は同じで、大型の絵本・紙芝居・中央図書館の紹介である。
- 委員 本の選書とお話し、若い方で割と慣れていない感じがした。あの本の場合、読み方によっては良さが伝わらない。読み手に合わせた選書をすればよかったのではないか。
- 図書館長 選書については、ハロウィンと言うことでお化け関連を選んだ。コロナ禍で3年ほどはイベントが出来なかったので経験値が少ないが、新人たちが当日に向け取り組んだものである。
- 委員 読む人は毎回同じ方か。土曜日の女性の方はやんわりとして聴きなじみがよかった。
- 会長 内覧会は予定しないのか
- 中央図書館
整備担当課
長 引越しが終わった後、6月中・下旬に内覧会を検討している。協議会の方々に内覧していただくタイミングも含めて検討する。
- そして、口頭で申し訳ないが、中央図書館建設工事等の状況について報告する。9月より屋根工事に着手しており、屋根が完成して太陽光パネルを設置するのは12月下旬を予定している。3月15日竣工予定で内装工事も引き続き行っている。
- また、様々な備品調達について4月納品に向け調整している。
- さらに、カフェ業者選定について近日中に公表し、カフェを運営する法人を募集する。行政財産の貸付としプロポーザル方式で決定する予定である。
- 図書館長 チラシ、利用者懇談会について、ボードゲームをやってみようと考えている。11月1日よりPR予定、今年度は関戸・聖ヶ丘が対象である。
- 今週のイベント10月28日（金）に健康センターで「子育てに絵本を！」1歳から3歳児の親子対象で、「絵本は子育ての味方です」ということで、親子の読み聞かせ講座、家庭での読み聞かせの練習のような講座を実施する。
- バックヤードツアー29日（土）午前実施予定、小学3年生以上、本館3・4階での本の探し方、分類の説明、ブックカバーのかけ方などを予定。
- 図書館長 次回開催について、年明け1月下旬以降2月位に実施。中央図書館管理運営方針と来年度の事業評価（案）を示したい。
- 会長 では、すべての議事は終了した。

本日の第4回定例会は終了する。